

産学連携 取組み実績

エイジェックグループは、大学など教育機関との「産学連携」により新たな価値の創造に取り組んでいます。

project1

信州大学

× (株)アシスト&ソリューション(エイジェックグループ)

銅胆持・可視光酸化チタン光触媒「セラコート・ワン」の共同研究・開発

信州大学工学部とアシスト&ソリューションが共同開発した『セラコート・ワン』は、銀や銅を加えることで酸化分解力を高め、光の無い状況でも抗菌作用が働く製品です。

光に反応して強い抗菌作用、におい除去、有毒ガス分解、空気清浄化等の効果を発揮します。あらゆる素材に塗布することができ、一度の施工でおよそ3年間は効果が持続することなどから、救急車の車内や、エスカレーターの手すり、ホールの座席、電車の車両などあらゆるシチュエーションで施工が可能です。

新型コロナウイルス感染対策としても期待されており、メディアからも注目を集めています。



project2

青山学院大学

× (株)エイジェック

青山学院大学とSDGsについての共同研究を開始

青山学院大学総合プロジェクト研究所内「SDGs人材開発パートナーシップ研究所（所長 玉木欽也（経営学部教授））」と、「ニューノーマル時代へ向けた教育機関・企業・人材の参加型事業育成」をテーマに掲げて、共同研究を開始します。

この共同研究は、産業と学問の連携による事業支援や、多彩な分野における人材キャリア支援、また地域資源・資産を活かした地域創生事業支援を目的とし、国際・産学官金連携・学生参加によるニューノーマル時代に向けた学校・企業・人材の参加型事業育成に取り組むものです。



「間島記念館」画像提供：青山学院大学

project3

昭和女子大学

× エイジェック(農業事業)

食と健康についての共同研究を開始

昭和女子大学と「食と健康」をテーマに産学連携取組みと共同研究を開始します。

●「熟成黒玉ねぎ」普及のためのレシピ開発

エイジェックグループの農業事業を担う(株)エイジェックファームでは、地域創生と農業6次産業をテーマにオリジナル食品「熟成黒玉ねぎ」を生産しています。昭和女子大学食健康学部との連携により、「熟成黒玉ねぎ」の特徴を活かした、より健康的で美味しいレシピの開発を学生の皆さんと共同で取り組みます。

●「桑」を活用した商品の共同開発

昭和女子大学食健康学部との連携により、栃木県小山市特産品である「桑」を活用した商品開発を行い、地域の健康促進に貢献いたします。



project4

大阪大学微生物病研究所発(株)ビケンバイオミクス

× (株)エイジェック

次世代バイオ産業に貢献する高度技能人材の育成支援

大阪大学微生物病研究所発のベンチャー企業である(株)ビケンバイオミクスとの共同出資により(株)BioLab Meister(バイオラボマイスター)を設立いたしました。

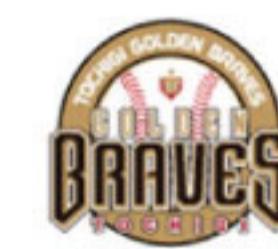
この法人は、次世代のバイオ産業に貢献できる高度研究系技術者の確保を主目的に、バイオラボマイスター(バイオ高度技能人材、バイオDX人材)の育成を行い、研究支援、産学連携、業務委託を通じて、研究機関や一般企業に対して優秀な人材を提供します。



球団運営と地域共創で新しい価値の創造を目的とした共同研究

白鷗大学と栃木県民球団は地域共創をテーマに共同研究を開始します。

独立リーグ・栃木ゴールデンブレーブスを運営する株式会社栃木県民球団（栃木県小山市）は、白鷗大学 教育学部（栃木県小山市）斎藤正憲ゼミナールと「地域共創と人文知：まち・ひとづくりに関する新しい価値の創造」をテーマに共同研究を行います。2021年12月20日付で「地域共創センター（共同研究室）」を設置、地域共創に関する様々な共同プロジェクトを推進します。



×


白鷗大学
HAKUOH UNIVERSITY

女子アスリート栄養プロジェクト

昭和女子大学とエイジェックグループでは「スポーツ栄養学」の観点から、女子アスリートのパフォーマンス向上について共同研究を開始します。

エイジェック女子野球部の選手に対し、食健康科学部 健康デザイン学科の学生が、部員のパフォーマンス向上を目的に、以下の取組・研究を実施します。



ジェラート開発プロジェクト

東京バイオテクノロジー専門学校とエイジェックグループでは「持続可能な地域活性・創生」を目的に商品開発の共同研究を開始します。

乳酸菌の活用をキーワードに、香料や着色料を使用せず「環境にも体にも優しい」ジェラートの開発に取り組みます。素材そのままの香りや色合いを引き出せるよう、加工方法や配合にもこだわったジェラートを開発、飲食店えびの仙太や学校でのオープンキャンパスにて提供します。



学生による種袋デザインコンテスト

宇都宮メディア・アーツ専門学校とエイジェックグループでは、学生へ実践の場を提供することで、業務理解や専門分野に必要な能力を知っていただくため、ビジュアルデザイン科の学生による種袋デザインコンテストを実施しました。

2022年夏に「キッチンプランテーション（美味しい野菜シリーズ）の種袋デザインリニューアル」課題を提示し、2022年11月に作品選考、2023年2月に表彰式を実施、最優秀賞1名が決定しました。2024年初春より新パッケージデザインとして採用し、流通する予定です。



最優秀賞の種袋デザイン

栃木さくらカップお弁当開発プロジェクト

東京家政大学とエイジェックグループでは「食育」を目的とした、お弁当商品開発の共同研究を開始します。

管理栄養士を目指す人間栄養学部の学生による、栃木県にて野球に取り組む女子小学生・中学生アスリートを対象とした、お弁当レシピ考案プロジェクトです。子どもたちにより一層食に興味を持ってもらえるよう、栄養面やお品書きにこだわったお弁当を開発。提供は弊社運営の飲食店えびの仙太にて行う予定です。

